

ダ等の基本的な五種の味の刺戟閾については古くから多くの研究者の実験がある。しかしながらこれら文献に記載されている刺戟閾の数値ははなはだ区々であって正確な刺戟閾を決定することはきわめて困難なようである。

著者等は五味の刺戟閾に近い稀薄水溶液によって男女三百数十名に対してその識別テストを実施した。その結果、各味に対する正解率はほぼ 50~60% の間であった。又この正解者の分散は、被検者数が 40~50 人であればそのばらつきの中が少くなることを認めた。

更に五味の識別試験の成績に対する性別、年齢別、職業別差異の検討を行った。

これらの結果からこの種のテストとしてはもっとも刺戟閾に接近した条件下で行ったものと思われるが、尚今後この種の実験を継続したい。

48 刺戟閾に近い稀薄な水溶液による五味の識別テスト

味の素株式会社 ○池田 真吾
古川 秀子

蔗糖, 有機酸, 食塩, カフェイン, グルタミン酸ソー